

塾生・保護者の皆様へ

「受験特別体制、9月スタート」のご案内

開倫塾

塾長 林明夫

＜お読みになりやすいように、QandA の形でお話させていただきます＞

Q：「受験特別体制」とは何ですか。

A：(1) 塾生の皆様お一人お一人の「第 1 志望校合格」を、開倫塾として全面的にサポートするための取り組みです。期間は、本年 9 月から、3 月中旬の合格祝賀会の日までの 6 か月余りです。
(2) 「受験特別体制」は、例年は 11 月スタートでしたが、今年は 2 か月早め、9 月からスタートして半年余りにしたほうが、全受験生の「第 1 志望校合格」をより確実にすると考えたからです。
(3) ただし、大学入試や私立高校入試、私立中学校入試、公立中高一貫校入試、都立高校入試までの期間は、4 か月～6 か月しかありません。そこで、入試が 2020 年 3 月前にある受験生については、明日の夏期講習会第 3 期(8 月分授業)から「受験特別体制」をスタート、全勢力を集中し、「第 1 志望校合格」を果たしたく存じます。

Q：受験生として、この「受験特別体制」の期間をどのように過ごしたらよいですか。

A：(1) 「第 1 志望校を決定」することが第 1 です。
① まだ決まっていなければ、自分の将来を十分に考えて、まずは第 1 志望校を決定してください。
② 高校卒業後に大学に進学したければ、大学進学の実績のある高校を第 1 志望校とすることをお奨めします。
(2) 「受験生としての自覚」を持つことが第 2 です。
① 第 1 志望校合格に必要な偏差値(実力)と、現在の偏差値にギャップがある場合には、そのことをはっきり「自覚」することが求められます。
② その上で、どの教科の、どのような部分が得意なのか・不得意なのかを「自覚」。得意教科や分野はだれに遠慮することなくどんどん伸ばすことです。
③ 不得意教科や分野は、よくわからないところ・よくできないところまで遡(さかのぼ)って勉強することです。例えば、漢字の書き取りが不得意なら、小 1 から小 6 までの漢字を総復習し、それが終わったら中 1 から中 3 までの漢字を総復習することで、一気に得点できるようになります。
(3) 開倫塾の「自己学習スペース」を最大活用することが第 3 です。
① 「受験特別体制」中は、受験生であれば、開倫塾の校長先生の許可が得られた場合には、夕刻から午後 10 時 30 分(東京は午後 10 時)まで、開倫塾の「自己学習スペース」で「長時間自己学習」をすることができます。
② 例年、9 月過ぎから各々の塾生の皆様の受験前日まで、開倫塾のすべての校舎で毎日午後 5 時頃から 10 時頃まで、多くの受験生が「長時間自己学習」を行い、「第 1 志望校合格」を勝ち取っています。
③ 9 月 1 日から受験前日まで、開倫塾の校長先生と十分にご相談の上、夕刻から夜 10 時 30 分(東京は 10 時)まで、「自己学習スペース」での「長時間自己学習」に挑戦してください。
* 受験学年でなくても、校長先生の許可が得られれば OK です。お申し出ください。

Q：どのように受験勉強をしたらよいのでしょうか。

- A：(1) 開倫塾での 40 年間の経験に基づいて、「学習の仕方」を「学習の 3 段階理論」にまとめてみました。ぜひ参考になさってください。これは、「このようにしたら効果の上がる受験勉強ができる」という、受験勉強のポイントをかなり具体的にまとめたものです。必ず役に立ちます。一生役に立ちます。
- (2) 文字や記号、文章を正確に、また、論理的、分析的に読み取る力を、「読解力」といいます。この「読解力」不足が原因で、受験勉強が進まない・試験問題が正確に読み込めない受験生が毎年たくさん存在します。
- (3) そこで開倫塾では、創業以来 40 年間、受験学年の塾生の皆様には、「辞書・新聞・読書」を最大活用して「読解力」を身に着けることを、全面的に奨励しています。

Q：もう少し詳しくお話をください。

- A：(1) 「辞書(国語辞典や英和辞典など)」をいつも身近に置き、意味のわからないことばに出合ったら「気持ちが悪い」と考え、必ず辞書で調べること。



*受験生は、辞書を用いて 1 日 10 回は意味調べを。

- (2) 昨日の新聞を保護者の方からプレゼントしていただき、毎日じっくり読み込むこと。(保護者の皆様は、ご家庭で読み終えた新聞を、お子様に「毎日」プレゼントしてあげてください)

①今日の新聞でなくても OK です。

②受験生は、1 日 30 分新聞を読むことをお奨めします。

③新聞を取っていなければ、学校の図書室や近くの図書館で新聞を読むことをお奨めします。



- (3) カバンの中に読書用の文庫本や新書本を入れ、折に触れてどんどん読むこと。

①受験生は、1 日 30 分読書をするをお奨めします。

②辞書・新聞・読書による「読解力」の育成は、短期間での偏差値アップに直結します。

③試験前日や試験当日もこの取り組みをしてください。入試直前は頭がさえわたっていますので、受験に役に立ちます。

Q：最後に一言どうぞ。

- A：(1) 実は、受験勉強の全教科の内容は、進学した上級学校ですべて役に立ちます。また、社会に出てからもすべて役に立ちます。役に立たないことは一つもありません。受験勉強は大切な勉強をするせっかくのチャンスですので、しっかり勉強してくださいね。

(2) また、受験勉強で培った、かなりハードな長時間自己学習をする力は、上級学校に進学後も、社会に出てからもものごとに取り組むときにも、とても役に立ちます。

(3) 辞書を用いる力、新聞を読む力、読書の習慣、また、これらによって身に着く「読解力」は、上級学校だけではなく、社会に出てからも役に立ちます。「よく生きる」上で、生涯にわたって役に立ちます。

*なお、2 ~ 3 学期の「定期テスト対策」「3 大検定対策」も、この「受験特別体制」の中でバッチリ行うことはもちろんです。どうかご安心ください。

よくおわかりにならないことやご質問がありましたら、各校舎の校長先生、または、開倫塾本部事務所(0120-066555)に遠慮なくご連絡ください。どうかよろしく願いいたします。

2019 年 8 月 15 日(木) 14 時 02 分